

まちのわだい

全国トップレベルを証明!

高遊原南消防署の精鋭たち

第38回全国消防救助技術大会が、8月20日横浜市内で開かれ、高遊原南消防本部の福岡雄樹消防士長(平田中)が、水上個人種目「複合検索」部門で3連覇を達成し、団体部門の「水中検索救助」でも同本部チームが準優勝を果たしました。

「複合検索」という競技は、水中で障害物を突破しながら、行方不明者に見立てた4個のリングをより早く捜索する競技です。3連覇が期待されるプレッシャーの中、福岡消防士長は、



左から荒牧さん、福岡さん、土田さん、片山さん

平均タイムに3・4秒差をつける23・2秒という好タイムで、見事優勝を果たしました。

「水中検索救助」は、4人1組で水没している要救助者(人形)を引き上げ、岸まで搬送する競技です。福岡消防士長を中心に、荒牧竜治消防士(馬水北)、片山誠也消防士(辻の城団地)、土田潤也消防士(熊本市)のメンバーで、見事なチームワークを発揮しましたが、昨年優勝を分け合った東京消防庁にわずかにおよびませんでした。しかし、昨年の記録を1・3秒縮める1分8秒9というタイムで準優勝を果たしました。

住永町長の「全国で結果が残せるのは、日ごろからの皆さんの頑張りの証。これからも町の消防活動発展のために、今まで守ってこられた伝統を引き継いでいってください」との言葉に、個人優勝の福岡さんが4人を代表して「このような成績を残せるのも皆さんのおかげ。今後とも町のためにまた一から、日ごろの業務に精進していきます」と頼もしく答えていました。

豊かな田畑を守ろうよ

広安小児童が環境保全ポスター設置

8月23日、広安小児童20人が、環境保護を題材にしたポスター作りを安永3町内公民館で行い、同地区内にある田畑に設置しました。

これは、安永地域資源保全チーム(住吉 直代表)が農地・水・環境保全向上対策事業の一環として、子どもたちの絵をとおして、地域の環境保全に関心を持ってもらおうと実施したものです。

ポスターには、「ゴミをすてるな」「町をきれいに」など環境保全の思いがこめられており、住吉代表は「ポスターを見た人たちに少しでも環境保全に関心を持ってもらえれば」と効果に期待を寄せていました。



金賞を受賞した角さんと作品「秋熟」

シルバー作品展で金賞

福富の角 軍亀さん

8月18日から23日にかけて県シルバー絵画展が開かれ、日本画の部に出品した角軍亀さん(福富)が見事、金賞に輝きました。角さんの作品名は「秋熟」。柿の木を画題にして細かく描写。昨年11月から3か月かけて完成させました。

同絵画展の日本画の部には、24点の応募があり、受賞した作品は、来年10月に開催される「ねりんピック石川2010美術展」に出展され、審査を受けます。

角さんは「とてもうれしいです。全国大会への出展はとても励みになります」と受賞を喜んでいました。



出来上がったポスターを手にする子どもたち